MONTHLY NEWS

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

No.-498

メアリー・カサット展

き/9月27日(火)~12月4日(日) 9:30AM~5:00PM ところ/京都国立近代美術館(祝日以外の月曜と10/11休館) 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

19世紀後半のパリで活躍したアメリカ出身の女性画家メアリー・カサット (1844-1926) は、 エドガー・ドガとの運命的な出会いをきっかけに印象派展に参加し、身近な人々や家庭の情景



を主題に独自の画風を確立した。特に母子を温かな眼差しで捉えた作品 は多くの人々の共感を呼び、「母子像の画家」としての名を不朽のもの としている。

日本では35年ぶりとなる今回の回顧展では、カサットの初期から晩年 までの代表作に加え、交流のあったピサロやドガなど印象派の画家たち の作品や、画家が影響を受けて愛した日本の浮世絵版画などをあわせ た合計約110点により、愛にあふれるカサット芸術の真髄をご覧いただ ける。



「桟敷席にて」1878年 (ボストン美術館蔵)

「眠たい子どもを沐浴させる母親」1880年 (ロスアンゼルス郡立美術館蔵)

生誕300年

若冲の京都 KYOTOの若冲

と き/10月4日(火)~12月4日(日) 9:00~5:00PM ところ/京都市美術館(祝日以外の月曜休館) 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4107

今から300年前の1716年(正徳6)に、伊藤若冲は京都錦小路の青物問屋の長男として 生まれた。家業のかたわら狩野派、尾形光琳や中国の元代、そして明代の画法を学び、江 戸期においては初老といわれた40歳で家業を弟に譲り、絵画の制作に専念するようになっ た。そして1800年(寛政12)に没するまで、写生的、装飾的な花鳥画と斬新なタッチの水 墨画によって異色の画風をつくりあげた。

最近のブームといわれる若冲熱狂の時代に、本展は若冲の画業を通観することによっ て、その独自の世界観や優れた作品の数々が、当時の江戸とは異なる精神の自由性に満ち ていた京都にこそ、その芸術の源泉があったという。「若冲は要するに京都そのものであ る」(狩野博幸)、すなわち京都と若冲はいわば一心同体ということだ。

本展には宮内庁所蔵の〈動植綵絵〉30幅の展示はなされないが、主な代表作品が展示替 えで次々と登場する。またこれまで目に触れたことのない水墨画の名品も数多く展示され るという。展示替えリストを入念にチェックしてKYOTOの若冲を堪能していただきたい。「竹





ケに雄鶏図	」 「老	松鸚鵡図_
(個人蔵)	-通期展示-	(個人蔵)

会場	日曜	$\begin{array}{ c c } 1 & 2 \\ \pm & \oplus \end{array}$		4 5 火 水 :	6 7 木 金	8 土	9 10 围 用	11 火	12 1 水 オ	3 1 比 组	4 15 g 土	16 ①	17 18 月 火	19 2 水 z	20 21 木 金	22 23 土 _田	24 25 月 火	26 水	27 2 木 🕏	8 29 3 全 土 匡) 月	
京都国立近代美)	メアリ	J —	・カサ	ーット	展(月	曜休食	官)							→12/4
京都国立博		特集陳列 生誕300年 与謝蕪村					つみ開館 星休館)							特別展	長覧会	「没後15 (月曜休		反本龍	馬」			→11/27
	2F			学会議员 開催記	己念											術館コレ みやび				5		→12/11
		京都府	内の字	学校所蔵	考 占 '	・歴史	負料展	:]		祇	園祭	- 南額	見音山の	の名宝	_						祭 名宝-	→1/15
	3F					I	国立カ	イロ‡					ファラン:10/1			ッド展						→ 12/25
京都府 京都文化博物館	4F] ME C	. 10 / 1	T/IVEE)								
中京区高倉通三条上ル 222-0888	5F		琳 派 百 図 展	\$ \$第 [39] [回]					上田ミチ	・ヨソー 崩葱会 第22回	人展 イング都 染色作 早蕨会 絵更	品展 書展			での名					第53回 女美術展		
	6F									前	第33章 雲会書			京都シニ 大学 第44回学 文化祭	世.	-仏教芸術 界巡回展 単海游逸》				第53回 女美術展		
	別館	音楽		音楽 会 会		本スラ						音楽		講演会		音楽 音楽		講演会		PAメイキン:		

### 第10回 院級 京都紀		会場	日 曜	1 2	3月	4 5 火 水	6 7 木 金	8 9 生生	9 10	11 .k	12 13 14 15 10	5 17 F	18	19 20	21 22 23	24 FI	25 1	26 27	28 29	30 31]
京都市美術館 大学の記録を設定 日本・カナダ間際振興製 外部日記を 中の元本 中の元本		五物	- PE						100	八	水 水 並 工 に	<u>и</u> л	人	水水		Л	人	/\(\) /\(\)	京友禅き	50	1
日本 1 1 1 1 1 1 1 1 1				型 相 型成											Oの若冲				Zimae		1
日本 1 1 1 1 1 1 1 1 1		京都市美術館	本 館	が 対 が な が な と を を を を を を を を を を を を を								以外0 	の月E 							-	
第2000年 1		左京区岡崎公園内		交歓作品展 京都市			E	本・カ	ナダ	国際	版画展						第	第80回 自	自由美術原	是	
		771-4107									新制作京都			ž Š			第7	71回 行動	動展 京都	展	
京都府立			別館										第	30回記:	念 国創展						1
大田		古权庇士	1F				京水组	会丹青原		2	2016 青美秋季展		方			74.					
空間 空間 空間 空間 空間 空間 空間 空間		文化芸術会館	2F							京都			第	第45回			京	都現代才	水墨 選抜	展	1
京都市立堂本刊東美術館			3F	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,										VI 124			<u> </u>		雪月展(花	1
同少館・京都現代美術館 取るという時代・木村伊兵商展(祝日以外の月曜休館) 取るという時代・木村伊兵商展(祝日以外の月曜休館) 依白守寺作陶屋 本日の間景で 京都工芸の指帯2016展 年間 本日の間景で 本日の日本日 本日の日本日本日 本日の日本日本日 本日の日本日本日 本日の日本日本日 本日の日本日本日 本日の日本日 本日の日本日本日 本日の日本日本日 本日の日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本					ГТ	NSHO I				オ"	堂本印象生誕12				印象にこん	な冊	ト界力	があった			12
## 1		何必館・京都現代	美術館		1 ==		3111 01			-						5 L	- 71 "	, ,,,,,,			
語画		来山区低园型北侧 5											李 暁剛展(洋画)				佐伯守美作陶展				
221-2811	(A)		由 郎						·華2016展					柳下季器 作陶展				益田	日芳樹木區	影展	→1
本人的部会聚			グランド ホール								日本伝統工芸	展	チャリティー								
大			画 廊	アノラ・スペンス 絵画展 山崎有美			通次	廣 茶	陶展		日本工芸会近編 木竹部会原	幾支部 異	3	木	村章子絵画	展		涌波	皮蘇嶐作阿	甸展	→ 1
(注)							勝山正則木版画展				野依幸治洋画展							日本画	5人展	1	
中 信 美 術 館		211-8111	ミュー																		
 (1) 国際機器 (1) 国際機器 (1) 日本 (1) 日			館	具象彫刻展															石之	本正展	- →1:
 金素産素目別販売 76-2477 養術館 「えき」KYOTTO					(月曜	休館)						泊めき	€ <i>0</i>) -	卜宁					(月1	催休期)	1
日									没後!	50年)		「 北宮 か郎屈 没後60年							60年	-	
会 場	Œ		352-1111	1 9	2	4 5			いてる	ある 4	今 未来の蕾で一杯	一杯な今~							展	→ 1	
アートキャフリー北野		会場		土田	月	4 3 水					水木金土			水 木	金 土 🗓	<i>2</i> 4 月	Zo 火	水 木			
(日本画)	(F)) ±1	第三十 浅葱會	回 ?	奥	村圭子	個展(立	平面)	-		,		40回サン	ンデーサーク	ル展		安食洋	個展	(平面)	-
	(A) (B)			永沼		湖	一古	佃品							佐竹龍蔵						-
### (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)						189.	尸臣	凹灰				北佐会	 : 昌 届	ē.	([∃本頂			_		-
Art Spece Main Tage Page Main Tage Page		東山区三条神宮道東入 7	251-1830			SΔ	GA DAS	H2016			()	(月曜休廊)]			会	-
		中京区寺町竹屋町上ル 7	44-0122			京都	都嵯峨芸術 画 学生道	方大学 選抜展			土と石の板絵展										
 (企)	10						周:				Aqua				常設展	(月曜休廊)					
 イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372 宮本佳美個展 一 心 堂 画 廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013 芸 艸 堂 画 廊 中京区寺町二条下ル 231-3613 企 草 子 東山区新門前通東山西 551-9137 産 大 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京	1				池田良則教室																
日本画・洋画常設展		イムラ・アート・ギャ	ラリー												1						
中京区馬丸通(南下ル 2f1-10f3) 芸 艸 堂 画 廊 中京区寺町二条下ル 231-3613 絵 草 子 東山区新門前通東山西 551-9137 延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 2f1-5552 (陶・ビーズ) 中京区二条寺町東入 2f1-5552 (陶・ビーズ) 御 池 画 廊 北区小山上総町20-2 492-3083 内臓炎・、山口達春、堂本印象、中路融人 他 カ ギ ム ラ 画 廊 中京区河原町四条上ル東入 22f-2996 画 廊 お か ざ き 現代工芸作家常設展 伊藤若冲「版画の世界」(土日祝休廊) 本野幸一・ 本野幸一・ 入よずのみを展 (陶) (木曜休廊) 本町・日本画常設展(日・祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙邨・熊谷守一 他 日本画・洋画常設展 現代工芸作家常設展		一心堂画	廊	日本画・洋画常設展									1								
中京区中町 (東山区新門前通東山西 551-9137 (本) 草 子 東山区新門前通東山西 551-9137 延寿堂ギャラリーソフォラ (芸 艸 堂 画	廊		伊藤若冲「版画の世界」(土日祝休廊)										1						
乗出区新門用乗用回 551-9137 延寿堂ギャラリーソフォラ 飯野夏実展 休廊 八田亨展 (陶) (木曜休廊) 休廊 水野幸一・ みずのみさ展 内田亨展 (陶・ビーズ) 休廊 八田亨展 (陶・ビーズ) 休廊 八田亨展 (陶・ビーズ) (陶・ビーズ) 株廊 井画川 日本画常設展 (日・祝休廊) 大徳良平、岸田獅生、青木飯郎・伊谷賢蔵・池田遙邨・熊谷守一 他 日本画・洋画常設展 日本画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_																	-			
中京区二条寺町東入 211-5552 (陶・ビーズ) 作那 八田予展 (両) (木曜休郎) 作那 (内藤水 ガラス) 作品 展		東山区新門前通東山西 5		飯野夏実展 休庫 八田宮屋(陶)(木曜休庫) 休廊 ホ野幸一									<u> </u>								
***********************************		中京区二条寺町東入 2	11-5552	(陶・ヒ	(陶・ビーズ) (本庫) (本庫)										1						
中京区河原町四条上ル東入 221-2996 日本画・洋画常設展 日本画・洋画常設展 現代工芸作家常設展		北区小山上総町20-2 4	92-3083	小磯良平 西岡義一、	、岸F	田劉生、青	「木敏郎、	伊谷賢蔵、 ・路融人	他									他			-
(1) 現代上去往然角放放		中京区河原町四条上ル東入 2	21-2996								日本画・洋	画常	設展								-
在水色阿姆性白色香油 707 WE7		四 駅 お か で 左京区岡崎神宮道西側 7									現代工芸作	家常	設展								

丹波青磁 篠山藩窯王地山焼 王地山陶器所 復興、そして未来へ

と き/9月30日(金)~10月12日(水) 9:30AM~5:00PM ところ/京都陶磁器会館ギャラリー(木曜休館) 京都市東山区東山五条トル **25**075-541-1102

秋の便りとともに、丹波篠山から王地山焼陶器所の作品をご紹介いたします。

王地山焼は、江戸時代中ごろの文化文政期 (1804~30)、当時の篠山藩主であった 青山忠裕 (あおやまただやす) がこの王地山の地に築いた藩窯です。三田藩で青磁焼 成に成功した京都の名工、欽古堂亀祐 (きんこどうかめすけ) を招いて指導させまし た。

製品は、青磁・染付・赤絵などの中国風の磁器を模したものが多く、手彫りの土型で素地を型押し成形するなど、繊細かつ高度な技術をもって作られていました。

当時、大名たちの間では、茶器を焼く藩窯を持つことが流行しており、王地山焼きでは篠山藩や地元の豪商などの保護もあり嘉永年間(1848~54)の最盛期には幾多の気品ある作品が焼かれていましたが、明治2年(1869)廃藩置県を目前にして廃窯の運命となりました。

現在の王地山陶器所は、廃窯から100年以上の時を経た昭和63年(1988)に、同じ 王地山の麓に復興されました。作品は独特の緑色の青磁、染付、赤絵などが主で、江 戸時代の作品を当時の技法を使い復刻したものや、現代の生活にも合うような新しい



「王地山焼」

器づくりにも力を入れています。今回の展示では、江戸時代の復刻作品とともに、現在の王地山焼を展示いたします。京 焼の流れを汲む王地山焼を、この機会に多くの方に観て、知っていただけたらと思います。(王地山陶器所 談)

素朴でどこか懐かしさを感じる王地山焼き。皆様の目にはどのように映るでしょうか。京焼きとは少し趣の違う丹波のやきもの。でも、それを作る人も、使う人もどこかで同じ思いを抱いているように感じます。廃窯から復興へ…時の流れに思いを馳せながら、ご覧いただけると幸いです。

日本画・洋画の佳品による「秋の彩り」展

と き/9月27日(火)~10月22日(土) 10:30AM~6:00PM ところ/星野画廊(日曜・月曜休廊) 京都市東山区神宮道三条上ル **20**75-771-3670

この夏、信じられないほどの高い気温が連日続き、突然の豪雨が場所を選ばず局地的に降り注いだ。台風はこれまでに 上陸したことのない東北や北海道に甚大な被害をもたらした。地球温暖化のエルニーニョ現象により、日本列島は亜熱帯 の気候に激変しているのだろう。

あの時せめてもの憂さ晴らしとなった、リオ五輪の熱気もはるかに過ぎ去り、遠い記憶の出来事になってしまった。各地に深い爪痕を残しながらも、季節がようやく穏やかな秋の到来を告げる今日この頃、当画廊では「秋の彩り」に溢れた佳作に触れることで、少しでも心の平穏を取り戻していただければと願った展覧会を企画しました。ご高覧くだされば幸いです。なお作品は即売し、随時展示替えしています。

出品作家

有道佐一 太田喜二郎 伊藤泰造 井上長三郎 伊藤快彦 小見寺八山 亀高文子 小川マリ子 北脇 昇 黒田重太郎 里見勝蔵 澤部清五郎 霜鳥之彦 武内鶴之助 上野春香 田中善之助 国沢和衛 玉村方久斗 錦 義一郎 都鳥英喜 鶴田吾郎 松原三五郎 浜田葆光 山本森之助 山口八九子 浜地清松 藤田龍児 和田英作 榊原一廣 劉栄楓 須田剋太 荒井龍男



玉村方久斗 「秋山高遠図」 昭和初期頃



都鳥英喜「八瀬の秋」 大正前期頃



里見勝蔵「柘榴」 1931(昭和6)年頃



伊谷賢蔵「櫻島と噴煙」 1960(昭和35)年



伊藤快彦「農家の秋」 明治末期頃

画集出版記念 池田良二銅版画展

と き/10月1日(土)~10月23日(日) 1:00PM~7:00PM ところ/ギャルリー宮脇 (10/3、11、17休廊) 京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

日本を代表する版画家として国際的に活躍する池田良二(1947年生まれ、武蔵野美術大学教授)。北海道根室を出自と する作者は、1980年代末、岬に廃墟となって遺された旧落石無線局を改修してアトリエとし、その特殊な時空、磁場をイ メージに捕らえてきた。近年は、さらに周辺の自然風景へと視線を拡げ、土地の霊性と深く関

わっている。

作者の主技法であるフォトエッチングは、写真がイメージの起点を成すが、そこに内的な ヴィジョンが複雑に織り重ねられていく過程が介在する。強いマチエールは、普遍化された場 所性と、作者の精神性の刻印であり、堆積した深遠な時間を湛えている。



「岬の水際から II」2015年 38.5×36.5cm 銅版画

画集『池田良二 アートワーク1975-2016 静慮と 精神の息吹』出版記念となる本展は、作者の京都初個

展でもある。2013~16年の 最近作をはじめ、旧作含め 全四十余点を紹介する。

10月8日(土) 夕刻5時 より作者を囲んで記念レセ プション開催する。詩人・ 美術評論家の建畠哲氏によ る特別寄稿を掲載した個展 パンフレットも配布。



「土壌と長椅子」2013年 52.3×33cm 銅版画



「橋による境界」2013年 50×40cm 銅版画

彫刻家 深田充夫展 Aqua

と き/10月4日(火)~10月16日(日) 11:00AM~7:00PM ところ/アートギャラリー博宝堂(月曜休廊) 京都市東山区神宮道東側 ☎075-771-9401

水と風と光をテーマに作品発表をされてきた深田充夫先生の展覧会を初めて拝見したのは今から15年以上前のことでし た。環境問題を提起した、クロアリ(体長約50cm)が公害を意味する夥しい数の空き缶から再生の世界へと向かってい くものでした。そのテーマも素晴らしかったのですが、実にリアルなこの大きいクロアリが私は単純に欲しいと思ったも のでした。

5年前に画廊を始めたとき、いつかは先生の彫刻の作品展を開催させて戴きたいと思ってきましたが、何かのめぐり合 わせで、今年実現することになりました。

深田先生は その輝かしい経歴にも関わらず、明るく気さくできめ細やかなお人柄で、節目ともいうべき当ギャラリー 5年目の秋、「Aqua」まさに水をテーマの新作を発表して頂くこととなりました。近年京都での展覧会は開催してこられ なかったとのことです。

是非ご高覧頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

(アートギャラリー博宝堂)

深田充夫略歴 1956年 滋賀県に生まれる

京都精華短期大学立体造形専攻科卒業 1978年

1978年 京展 '78 市長賞/京都市美術館

1981年 第2回ヘンリー・ムーア大賞展 優秀賞受賞

第10回現代日本彫刻展/山口県 1983年

1983年 第3回ヘンリー・ムーア大賞展 美ヶ原高原美術館賞受賞

第1回フジサンケイ・ビエンナーレ現代国際彫刻展 特別優秀賞受賞 1993年

1996年 彩の国さいたま彫刻バラエティ '96 大賞受賞

2000年 丸の内仲通り彫刻展/東京都

紺綬褒章授章、第3回世界水フォーラム参加 2002年

2003年 京都造形芸術大学 美術工芸学科彫刻コース 非常勤講師 '03年4月~'09年3月

2004年 第8回KAJIMA彫刻コンクール 金賞受賞

2005年 京展 '05 京展賞受賞/京都府

2005年 北京オリンピック彫刻デザインコンクール '05 Nomination Award 受賞/中国

2012年 第22回AACA賞 優秀賞受賞/社団法人 日本建築美術工芸協会

2013年 彫刻家 深田充夫展 石、水と大地 併催 穴太衆石積コロキウムを開催/ドイツ

2014年 第15回世界湖沼会議参加 (ペン画)/イタリア

2014年 第19回瓦·造形展 招待出品/東京国立新美術館



山下二美子個展

と き/10月5日(水)~10月23日(日) 12:00~7:00PM ところ/ギャラリーかもがわ (火曜休廊)

京都市上京区莨屋町通出水上ル かもがわ出版内 ☎075-432-3558

山下さんはこれまで、多くの展覧会や個展を開催していますが、京都で個展を開かれるのは初めてです。島根県に生まれ、東京を中心に活動されていましたが、現在は奈良にお住まいです。

アクリルを表現手段に、時には銀箔を下地とした画面に紙、布、金属破片、写真などをコラージュして、今日の社会に内在する不安や矛盾をゆるぎない視点から形象化しています。「玄黄」 一天と地一という概念が制作の基本にあると聞きますが、情熱的



に、あるいは冷徹に現実の厳しさを示しながら、詩的で調和のとれた画面は共感を呼び、昨年、奈良市内で開かれた個展ではチェリストとのコラボレーションも開催されました。

今回の個展では「フクシマを考えつづける」という副題のように、原発災害をテーマとした大作が出品されます。事故 以来、未だに解決の方向も見えないこの困難な問題について、共に考える機会となればと思います。(おかだ)

陶芸に集う日本画・写真・截金~ 四人のコラボ展

竹内浩一(日本画家) 小川文齋(陶芸家) 橋本健次(写真家) 中埜朗子(截金工芸家)

と き/10月11日(火)~10月23日(日) 11:00AM~7:00PM ところ/ポルタギャラリー華(会期中無休) 京都市下京区京都駅前地下街ポルタ内 ☎075-365-7533

ポルタギャラリー華では現在、日本画、陶芸、截金の作家にアドバイザーとしてご協力をいただき、幅広いジャンルで展示活動を行っています。

この度、作家の皆様方にご賛同とご協力をいただき、従来にない新しい企画案を発表させていただくことになりました。 陶芸作品に日本画を描き焼き上げた作品、写真を焼き付けた作品及び截金を施した作品で、陶器に日本画、写真及び截金 といった異なるジャンルのコラボレーションを展開し、オリジナル作品を発表します。陶芸、日本画、写真、截金の四つ の専門分野のコラボレーションの調和の美をぜひお楽しみください。また、各作家の作品も展示します。

六代小川文齋氏制作の陶器に日本画家・竹内浩一氏、写真家・橋本健次氏、截金工芸家・中埜朗子氏の技を組み合わせて制作した作品の一部を紹介します。



陶器と日本画のコラボ



陶器と截金のコラボ



陶器と写真のコラボ

竹内浩一(日本画家)

五条坂にならぶ窯元の佇まいが美しい。縁をえて文齋窯で絵付けをさせてもらった。大皿と壺に呉須と鉄で鯰や蝶そして モロコを描いた。広い工房から暦をみつめてきた登り窯がみえた。

小川文齋 (陶芸家)

いろいろな分野の先生方とコラボさせていただくだけで無く作品の新たな発展に関われとても昂奮しています。この展覧会が新たな表現の道しるべになればと思っています。

橋本健次 (写真家)

ガラス乾板に印画する事から始まった写真。今や様々な要素に印画する事が可能になり今回は陶器への転写と高温度での 焼き、新たな写真表現への可能性を含んでいる。

中埜朗子(截金工芸家)

仏像や仏画の加飾荘厳として用いられる截金が、工芸の世界でも知れるようになってきた。今回、素材として陶器と出会い、更なる表現の可能性を感じている。

嚆矢祭─其之九十八─ 土田康彦 ヴェネツィアン・ガラス展

と き/10月13日(木)~10月23日(日) 10:00AM~6:00PM ところ/大雅堂/1F・2F展示室(会期中無休) 京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

水の都ヴェネツィア・ムラーノ島に工房を構える唯一の日本人である土田康彦。ガラス作品であることすら一瞬忘れて しまうような斬新な作品からは、枠に収まりきらない彼の発想の豊かさを私たちに感じさせてくれます。 ガラス作品はこうである、という概念をくつがえす作品の数々を、大雅堂1階・2階を使用し展開いたします。この機会

にぜひご高覧下さいませ。 〈作家コメント・コンセプト〉

僕の作品は(もしくは作風、製法、制作工程は)バカラやラリック、スヴァロスキとは全く違う存在です。例えば表面に 凹凸があるとします。しかし、僕はそれを傷とは言わない。痕跡とでも言いましょうか…。僕が戦った証です。その痕跡 があるものもあればないものもある…。表面的な凹凸なんて、その程度ほどの問題なのですが、そこに「全くのオンリー

ワン: 一点もの」のユニーク性とオリジナル性を感じることができる人こそ僕のコレクターです。大量生産型ガラス工場の商品のように、つるっとして、スマートで、ピカピカの表面的美しさを超越したところに、芸術を感じて欲しいと、僕は常々願ってきました。 土田康彦

土田康彦 略歴

1969年 大阪市に生まれる。

1988年 辻調理師専門学校卒業と同時に日本を離れ、パリで食と芸術の道を目指す。

1992年 イタリア・ヴェネチアへ住まいを移す。

1995年 ムラノ島にてガラス制作に携わる。

1996年 スキアヴォン・ガラス社アート・ディレクターに就任。

1996年 日本の竹をモチーフとするガラス彫刻『バンブー・コレクション』を発表し絶替される。

2008年 トスカーナ・グロセト市より文化振興貢献者褒賞受賞。

2008年 ヴェネチアで行われた第11回オープン国際彫刻展に日本代表として出展し、最優秀グランプリ受賞。

2013年 『運命の交差点』を発表。透明感のある色彩ガラスと研磨技法により作品コンセプトを見事に具現化。

2014年 第53回日本現代工芸美術展にて現代工芸賞を受賞。

2015年 ミラノ万博・日本館にて書家・紫舟氏の書をガラスで造形した彫刻作品を発表。

2015年 作品集『運命の交差点』を出版。

2015年 沖縄県立美術館で個展「DNA-民族性」を開催。

2016年 ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展・日本館において制作協力。



「恋から生まれるもの」 8.5×30×11.5cm

山下裕美子「きおくの輪郭」

と き/10月14日(金)~10月26日(水) 9:30AM~5:00PM ところ/京都陶磁器会館ギャラリー(木曜休館) 京都市東山区東山五条上ル **全**075-541-1102

土という素材から、「重量」を可能な限りそぎ落としたならば、表層には何が残るのだろうか。そんな思いから、山下 裕美子は様々な形を限りなく薄い膜として表現しようと試みてきました。

彼女の作品は、原型の上に泥漿を塗りながら、和紙を $12 \sim 14$ 層張り重ねます。そして原型を取り除いて乾燥させ、焼き上げられます。焼成することにより和紙は燃え尽きますが、和紙にしみ込んでいた泥漿は焼けて磁器となり、何層にも重なった磁器特有の透光性を持った膜状の作品が完成します。

焼け残った磁器の膜、その作品の中に内包された空気や和紙のテクスチャーが、和紙が存在した「痕跡」として残ります。この「痕跡」は紙から磁器への変換であり、彼女にとっては物質を時間へと変換させる試みであるようです。

また、山下裕美子にとって作品を構成する膜は、空間そのものの輪郭であり、内と外との境界でもあり、そしてそれは彼女にとっても、見る者にとっても、自分と世界の境界線(輪郭)となります。

山下裕美子はこの境界をできるだけ虚ろにし、空間に拡散していくものを作ろうと試みてきました。しかし作品からできる限り重さを取り除き、存在感を希薄にしても物体は面前に存在し続けます。この矛盾から、彼女は世界に自己と他者、世界と自分の存り方を問いかけています。

会場を歩いて、作品の置かれた空間を移動することにより、 時間の記憶と、自らの存在へと思いを巡らせていただければ、 と思います。



「きおくの輪郭」



「かたちの殻」

	В	1 2 3 4	1 5 6 7 8 9	10	11 12 13 14 15 16	17	18 19 20 21 22 2	3 24	25 26 27 28 29 30	31	1		
	会場曜	土箇月月		<u>用</u>	11 12 13 14 15 16 火 水 木 金 土 ①	月	火水木金土	9月	火水木金土里	月			
	画 廊 き よ み ず 東山区清水五条坂 525-2062				日本画常	設居	Ę						
企賃	画 廊 後 素 堂				貸画廊受	付中	þ				1		
	中京区新町丸太町下ル 231-0938 画 廊 彩 雲		展示体廠 (十日初帶要体)										
(£)	宇治市折居台1-4-4023-1468画原たづ		展示休廊(土日祝営業休)										
	東山区神宮道三条西入ル 771-8225 画 廊 ビ ー ナ ス		ベルギー、フランス	-4	日本画常設展	(1		早に		T	-		
F	三条大橋東一筋目上ル東 771-3104	chozza ha a a ve	(松本	祐佳			シャポー		本祐佳)				
T	ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	完爾タベス トリー展 井村勲	下大路界田中誠	人			アイボー RITSUKO 帽子教室展	i e	LA・VENERE 秋のアクセサリー展 佐藤江里子				
P A	ギャラリーM 中京区蛸薬師高倉西 221-0979												
(f)	ギャラリーカト 1F	第6回 えんじ	吉田惠利子個展		昭和美術会		四季彩会展						
(5)	中京区寺町御池下ル 231-7813 _{2F}	展	山口了雄個展		小品展		燦の会展		四明展				
@	ギャラリーかもがわ 上京区堀川出水西入 432-3558			-	山下二美子個展(火曜位	 床廊))						
T	ギャラリー祇園小舎 東山区四条通縄手東入 551-3828	同志社大学 スケッチ クラブOB	衣笠和子 書画作展 並びに回顧展		染めと織り in 祇園		第12回 京睦展		神無月 小梅会				
	ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955	街道展	第12回 いのばんば展 (日本電池OB)		平岡康次写真展		同志社大学 スケッチクラブOB	Ę	篠原貴之 水墨絵画塾展				
(îe)	ギャラリー Create洛	六田 和子展	斎藤高; (日	上展 転展休			清水信		(日本画)				
	中京区丸太町通堺町角 708-7898 Gallery G-77	14 1 72		紫、	絵画。Purple, The Pict 月曜休廊)	ure.		7 1 11 11	1,000				
	小川通丸太町下ル 755-7695ギ ヤ ラ リ ー K			()	万吨(小水)		則武保弘個展						
	中京区寺町二条下ル西側 255-7518 ギュニ コ 市 国 1F	高木あすか	水野一展(平面)		井手本貴子展 (平面)		杉本奈奈重展(平面	.)	松生歩展(平面)		→11/6		
登 企	ギャラリー恵風 <u>「「</u> 左京区丸太町東大路東入 771-1011 _{2F}	展(漆) 田中希和子 展(平面)	万島澄恵展(平面)		大野詩織展 (漆)		内海紗英子·黒沢理 二人展(漆)		国際交流総合展選抜展		1170		
	会場	1 2 3 4	1 5 6 7 8 9 人 水 木 金 土 ①	10	11 12 13 14 15 16 火水木金土田	17 月		3 24	25 26 27 28 29 30 火水木金土田	31			
	ギャラリー佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767	工(例)73 [2			いろはん展	/ 3	/ V / A V A V B W B W V V	3/1/3	関西書票展	7,3			
	ギャラリー三条祇園				常設別								
<u>^</u>	中京区寺町通御池上ル 221-6401 ギャラリー白川		新作展 (月曜休廊)		小倉正志展						→11/1;		
(f)	東山安井東一筋目南 532-2616 ギャラリー 翔	色彩 秋を飾る	の中のイタリー 「気嵐」梶田洋原	!	ファンデーション 石村照子展	シリ	野田郁代展		しばしばスケッチの会				
	左京区北山通下鴨中通東 724-8154 ギャラリー16	オ山順子展「	(絵画)		(着物リメーク・陶器) 藤友陽子		(バッグ・洋服) 佐川晃司!	展(月	(水彩画グループ展) 曜休廊)		1		
P	東山区三条舶川橋西入上ル 751-9238 ギャラリー創		(月曜休廊)		銅版画展	a	絵画意識 -				1		
	中京区河原町御池上ル 251-0522		鴨居珲	・負	常設原 に谷守一・伊藤若冲・長		吉雪・白隠・曽我蕭白	他			_		
	ギャラリー象鯨 中京区姉小路柳馬場東 253-0738				常設展(貸ギャラ	; IJ -	一受付中)						
	ギャラリー高倉通 中京区高倉姉小路下ル 221-3390	舒	和田隆彦 ものしごと・鉄と暮らす										
	ギャラリー Little House 下京区室町四条下ル 090-9977-1559	中川景子 グループ 展	鈴木豪展		4 人展			12星	座展		→11/6		
	ギャラリー鉄齋堂	BX			常設F (6・9・18・19・		- 20日休廊)				1		
A	東山区新門前東山西 531-6164 ギャラリー知(とも)		中山	智/	介展	20	不可侵の領域						
£	中京区寺町通丸太町東入ル南側 585-4160 ギャラリーなかむら	植木野淑子					田中孝作品展(版	画)			→11/6		
	中京区姉小路河原町東 231-6632 ギャラリー中井	長(陶)	松ロナブロ		E man # 7 P		(月曜休廊)		V 122 V		1 -11/0		
	中京区木屋町三条上ル 211-1253 ギャラリー白梅園	陶展	樋口玄正展		星田加寿子展		藤喜さんち一文展		金曜会		-		
(£)	北区北野上白梅町63 461-0427				白崎信子ガラス	作品	品常設展 						
P C	ギャラリーヒルゲート 1F 中京区寺町三条上ル 231-3702 2F	甲斐彰 展 (油)	逸見亜古銅版画展		大垣禎三展 パステル銅版画 上杉尚展 (水彩)		新制作京都会員展 (小林一彦、田村研一、他	<u>tt</u>)	一居孝明・一居弘美展 (新制作会員)				

[『]短信』 京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (http://www.kyoto-art.net/) では、 すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

	会場曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 土 印 月 火 水 木 金 土 田	10 11 12 13 月 火 水 木	14 15 16 1金 土 印 月	7 18 19 20 21 22 月 火 水 木 金 土	23 24 25 2 日 月 火 7	6 27 28 29 水 未 金 土	30 31				
	ギャラリー美楽堂		<u> </u>	日本画常記		<u> </u>		<u> </u>				
愛	東山区神宮道三条上ル 761-9710 GALLERY FUKUMI SHIMURA		士壮 >	くみ・志村洋	工 佐口骨扒屋							
	左京区岡崎神宮道西側 746-3303	中西美実										
(f) (£)	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 4F	展(陶) ナガ仔 黒の門及	白城沙倒	展 (祖國)	吉原和恵展(平面 悠友会 陶展	新	田健展(平面)					
	221-0117 5F	平塚景 柳原裕丁展(不工) 世邊朗展(金工)	田邉朗原	屡 (金工)	温灰岩 19年	樋口	1和也展(金工					
(F)	ギャラリーみすや		髙友会	(日本画)	ひまわりの会	5.	ゃくじりんの会	*				
	中京区三条河原町西入 211-5997 ギャラリー 唯	装展. 秋(月曜	 【休廊)		増田政江展		インドのYANTRA					
企賃	左京区岡崎神宮道東側 752-0348	風間紀子 (オリジナルウェア) / 平野! /加藤希久代 (おしゃれス	則子 (古布リフォー タイル服)		布と糸のArt Life	;	ジャケット・ブラーン カディストール・小乳	ス展				
	ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450	陶芸作品常設展示		清水焼の 郷まつり	陶芸	卡作品常設展	示					
企賃	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700		龍馬と	: 酢屋 常設展	(水曜休廊)							
	ギャルリー正観堂	横田順墨画展	休原	ir	一	(水曜休廊)						
_	東山区切通新門前上ル 533-4110 ギャルリー宮脇	(水曜休廊)	同版画展(3・			(人)(中国 (下水)						
	中京区寺町二条上ル 231-2321	画集「アートワーク19										
@	ギャルリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138			具&絵画・工3・17・24・3	芸品在庫処分市 1日休廊)							
	ギャリエ 1号館	サイファ 山田昌子 墨翠会 書作展 (珠泉) 個展 水墨画展	1	画家協会展	四季の会 水彩画	展	ジョイ展					
(F)	2F	京都大学 第10回斎藤治男個展 写真部 (バステル画)		☆木版画 作品展	金曜会 木版画展 祥洲と墨集団		E o a l h l l					
•	中京区寺町三条上ル 2号館 1F	綾の手袖 遠藤乾翠の個展 乾翠のこんにったV展 大谷大学写真第 第二回男共享報のもかま屋		型俱楽部作品展	Sho墨Works展		匠のコレクション 三人展					
	京都ギャラリー	第5回墨林京都のなかま展 二回生展 第5回墨林京都のなかま展		放	中井水彩画教室作品	5展 入	谷大学写真部					
登 企	中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435			貸ギャラリー	受付中 							
(£)	京都芸大ギャラリーアクア	NEW LIFESTYLE	休館				PERIMENT 20 リード」(月曜					
	中京区御池通堀川東入 334-2204	Arita Porcelain	10 11 10 10	14 15 16 1								
	会場曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 土	10 11 12 13 	金土田月	7 18 19 20 21 22 月 火 水 木 金 土	23 24 25 2	16 27 28 29 水 木 金 土	30 31 月				
	京都芸術センター	ワームホール・トラベル - Kyoto Contemporary×Les Atliers	- ゆらぐ時空の	旅								
	中京区室町蛸薬師下ル 213-1000 京都市学校歴史博物館	Kyoto Contemporary ~ Les Athers		常設展示(水町	混 体館)							
UE/	下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	栄永窯 森本真二展 - 茶盌と活		1		ンケン Ym トゥー						
	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102 2F	(木曜休館) 「王地山焼復興、そして未来			窯展「京焼の世界で50 ス屋「まねくの粋部」		-					
	京都万華鏡ミュージアムアートスペース	(木曜休館) 日下部雅生/名			子展「きおくの輪郭」 京都マンガ家協会							
夏 企	中京区则小岭宋洞阮宋人 234-7902	「相違の鏡像	象」(11日休廊)	CIE	第22回大萬画展	`						
	COHJU contemporary art 1F 中京区丸太町寺町西 256-4707 2F	HALLELUAJAH×MDDY										
貸企	堺 町 画 廊	箱崎竜平 陶展	村野乳	實 木彫展	大黒浩子 猫がいる日常	ij	郭琪満 陶展					
愛	中京区堺町御池下ル 213-3636 里 見 有 清 堂											
_	中京区堺町三条上ル 221-5423			貝四郎文仆	J 14.							
	蔵 丘 洞 画 廊 中京区御池寺町東入 255-2232	常設展(日祝休廊) 岩崎知子展(会期中無休)										
	大 雅 堂 東大路通祗園上ル 541-7388	常設展(コンセプチュアルリズム(日祝休廊)			+ハ- (会期中無休) - ネツィアン・ガラス原	常設展	鳴矢祭−其之 松村公太	九十九				
	梅 軒 画 廊	日本画・洋画 常設展										
	中京区鳥丸四条上ル221-3510ポルタギャラリー華	(日祝休廊) (日祝休廊) ~ 陶芸に集う日本画・写真・截金~										
企賃	下京区京都駅前地下街 365-7533	八兄件水徐云展 四人のコラボ展 英州靖丁松画展										
	星 野 画 原 東山区神宮道三条上ル 771-3670	日本画、洋画の佳品による「秋の彩り」展 (日曜、月曜休廊)										
	松本松栄堂		新古書	持画展示(16日	・月末休廊)							
_	中京区寺町夷川上ル 212-0626 村 田 画		P. F.	常設展								
(£)	左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	 		(火祝休原								
F	ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東	京都大学 美術部 京都大学美術部新人展		役所絵画 クル展	− 花水木の会− 水彩画グループ風	į.						

発行: 京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895) [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手許に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。 http://www.kyoto-art.net/